

# おやこであそぼう

～ 絵本と、わらべうたの時間 ～

2019年7月17日



☆～ 今月の絵本と紙芝居 ～☆

- だっころりん (主婦の友社) 作・絵：ナムーラミチヨ  
ころころとんとん (フレーベル館) 作・絵：ナムーラミチヨ  
だっだあー (主婦の友社) 作・絵：ナムーラミチヨ  
ぞうくんのさんぽ (福音館書店) 作・絵：なかのひろたか  
でんしゃにのって (アリス館) 作・絵：とよたかずひこ  
おばけなんてないさ (ポプラ社) 作：新井洋行/絵：小林潔子  
おぱっけ～ (フレーベル館) 作・絵：ナムーラミチヨ  
おまつりおばけ (フレーベル館) 作：くろだかおる/絵：せなけいこ  
『ももんちゃん あそぼう』シリーズ (童心社) 作・絵：とよたかずひこ  
ピーカーぶー (くもん出版) 作：ひがしなおこ/絵：きうちたつろう\*  
めっきらもっきらどおんどん (福音館書店) 作：長谷川摂子/絵：ふりやなな\*  
ありのおでかけ (白泉社) 作・絵：西村敏雄  
ありさんどうぞ (大日本図書) 作：中村牧江/絵：林健造  
わにわにのおでかけ (福音館書店) 作：小風さち/絵：山口マオ  
わにわにのおふる (福音館書店) 作：小風さち/絵：山口マオ  
はなびドーン (童心社) 作・絵：カズコ・G・ストーン  
すいかくんがね・・・ (童心社) 作・絵：とよたかずひこ  
すいかです (文化出版局) 作・絵：川端誠  
やさいだいすき (こぐま社) 作・絵：柳原良平  
やさいもぐもぐ (ひかりのくに) 作・絵：ふくざわゆみこ  
いっぱいやさいさん (至光社) 作：まどみちお/絵：斎藤恭久  
おやさいとんとん (岩崎書店) 作：真木文絵/絵：石倉ヒロユキ  
なつはぐんぐん (小学館) 作・絵：五味太郎  
なつはひるね (フレーベル館) 作・絵：村上康成  
むんむんあついひ (福音館書店) 作・絵：こいでやすこ  
おばけちゃんところ (童心社) 作：間所ひさこ/絵：山本祐司 (紙芝居)  
くねくねゆらゆら (童心社) 作・絵：ひろかわさえこ (紙芝居)



\*印の絵本は、  
ちょっと大きな  
子どもたちのために

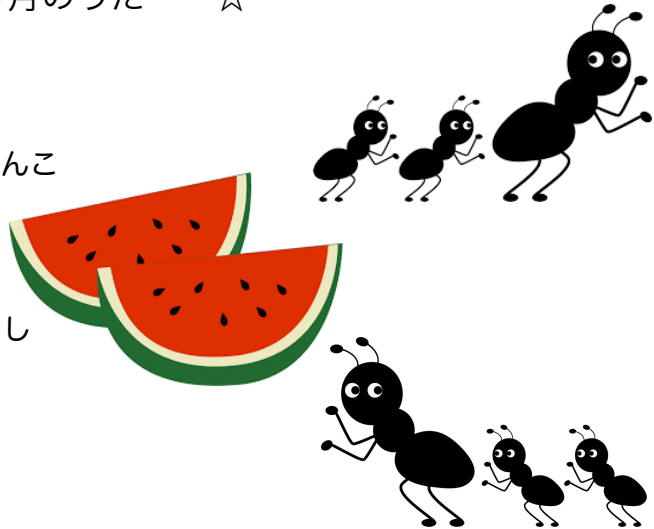


☆～ 今月のうた ～☆

♪おつかいありさん

あんまり いそいで こつつんこ  
ありさんと ありさんが こつつんこ  
あっちいって ちょんちょん  
こっちきて ちょん

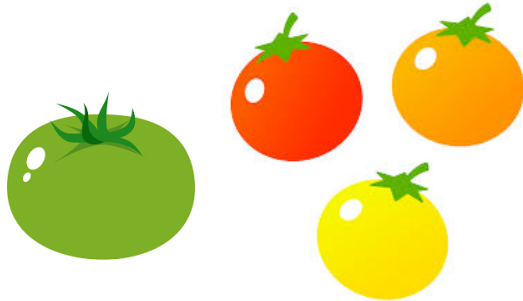
あいたた ごめんよ そのひょうし  
わすれた わすれた おつかいを  
あっちいって ちょんちょん  
こっちきて ちょん



♪トマト

トマトって かわいい なまえだね  
うえから よんでも トマト  
したから よんでも トマト

トマトって なかなか おしゃれだね  
ちいさい ときには あおいふく  
おおきく なったら あかいふく



☆～ お盆のこと ～☆

お盆が近づいてきました。お盆とは、亡くなったご先祖様の魂を供養することで、お盆の間、浄土にいらした魂が、お家に帰ってくると言われています。

地域によって旧暦や新暦で行うので期間は異なりますが、新暦だと7月13日が盆の入り、16日が盆明けになります。

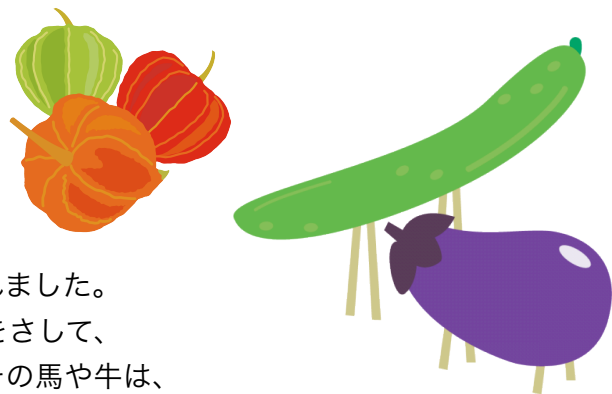
私事ですが、小さい時、お盆の入りの夕方、隣に住んでいる伯父伯母の家の玄関先で、お迎え火を焚いたのを今でも覚えています。

焙烙と呼ばれる素焼きのお皿の中で、おがら（皮を取り除いた麻）を燃やして、ご先祖様が迷わず、住んでいた家に戻って来られるようにするのだと、伯母が教えてくれました。

また、きゅうりやなすに、割り箸や爪楊枝をさして、馬や牛に似せた人形を作り、お供えします。その馬や牛は、ご先祖さまが行き帰りに使う乗り物なのだそうです。

地域によってお盆の期間、お迎えやお送りの仕方、お供え物など異なりますが、京都の大文字五山の送り火は、皆さんもご存知かと思います。無事に浄土に帰っていくことが出来ますようにと焚かれるのです。

カトリックでは、11月2日に万霊節というのがあり、亡くなった人のために祈りますが、この習慣は、比較的新しく、クリュニー修道院から生まれたと言われてしています。





さて、お盆で使われる「なす」「きゅうり」と言えば、夏野菜の代表のようなものです。今でこそ1年中、食べることができますが、昔は季節季節に、季節のものを食べることしかできなかったわけで、馬や牛にされたことも、納得出来ますね。

トマトも夏野菜ですが、最近では1年中、食べられる上に、今まで見たこともなかったような新しいトマトが出回っていて、ついつい夏野菜だということを忘れてしまいます。

何年前か、5月の連休明けに、沼田の『とうもろこし街道』をドライブしていた時のことです。道沿いでは、近所の農家の人たちが、それぞれに小さな店で、農作物を売っているのですが、お野菜が新鮮で、とても安いのです。

よく立ち寄りのお店に車を止めて、おばちゃんに「トマトください」と言ったら「まだ、時季が早いよ!」と言われてしまいました。確かに、いつもなら店先にいっぱい並んでいるのに、その日はなかったもので、不思議だなあとってはいたのですが、スーパーの店先とは違うんだな、と再認識しました。いわゆる、露地物ですね。

昔の人は、暑ければ涼やかなものを、寒ければ体を中から温めるものを、ちゃんと季節のものを上手に使っていたんだな、理にかなっていたのだなと、思いました。

今年は曇り空が多く、日照時間が異常に短いようで、お野菜のお値段が気になります!

話はお盆に戻りますが、8月のお盆には、皆さんも、故郷にお帰りになることと思います。最近では「お年玉」ならぬ「お盆玉」が広まりつつあるとか。この「お盆玉」は江戸時代に、山形の方で、奉公人が郷に帰るおりに、お金のかわりに下駄などをあげる習慣があったそうで、それが段々、お盆玉に代わったそうです。



沢山のお土産を持って、  
お帰りになると思いますが、  
ご郷里ならではの美味しいものを、  
たくさん召し上がって、この夏を  
元気に過ごしてくださいね!  
修道院のゴーヤカーテンも  
少ない陽射しの中、  
頑張っていますので、  
見に来てくださいね。  
露地物の実がなります。

次回は  
2019年 9月18日 (水)

お問い合わせ クリスト・ロア修道院

TEL 042 (465) 8620